



スマートフォンの翻訳アプリケーションを使ってコミュニケーションを取る生徒(田辺市あけぼの)

台湾の姉妹校と交流

田辺工業高

田辺市あけぼのの田辺工業高校は20日、同校で台湾の姉妹校から訪れた生徒を歓迎する、式典や交流会を開いた。

姉妹校は彰化師範大学付属高級工業職業学校。2005年に提携し、互いに行き来している。今年は1、2年生の生徒22人と教諭ら約10人が来校した。

歓迎式典では、両校の校長や生徒代表者らがあいさつし、これまでの交流時の写真を組み合わせたスライドショーを一緒に見た。姉妹校の生徒と田辺工業高の生徒32人の交流会もあった。隣り合っ

座った人とグループになり、中国語の単語を姉妹校の生徒が身ぶり手ぶりで説明し、田辺工業高の生徒が解答した。他にも自己紹介や西国を比較したクイズなどもあり、両校の生徒は英語やスマートフォン

の翻訳アプリケーションなどを使ってコミュニケーションを取った。

交流会の後は、一緒に校内を見学し、昼食を食べた。体操部の演技披露、茶道と剣道、弓道の部活動体験もあった。

姉妹校の黄彦杰君(16)は「日本はとても街が清潔に保たれていて、人は親切」と印象を話し、田辺工業高の情報システム科3年生、大迫百合彩さん(18)は「すごく緊張したけど、なかなかない機会なのでいい経験になった。台湾へ行ってみたいと思った」と笑顔を見せた。